



JA自己改革の取り組み

10年後の「めざす姿」として、3つの共通ビジョンの中で役割を果たします

持続可能な農業の実現

消費者の信頼や実需者のニーズにこたえ、安全で安心な県産農畜産物を安定的に供給できる持続可能な地域農業を確立し、農業者の所得増大を支える姿

豊かでくらしやすい地域共生社会の実現

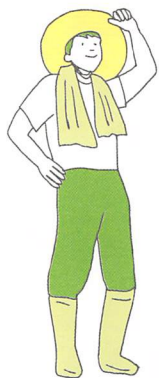
総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現に貢献している姿

協同組合としての役割発揮

次世代や地域共生社会の構成員とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として存続し、役割を発揮している姿



笑顔いっぱいの「ありがとう」のために
For Your Smiles, For Your Thanks,



 **JA利根沼田**

利根沼田農業協同組合 〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1940-1
TEL.0278-22-6633/FAX.0278-22-6666



農業者の所得増大



農家手取り最大化プログラム「匠の技伝承」

農業者が有する卓越した農業技術を着実に次世代に繋いでいくため、熟練農業者の経験や勘に基づく高度な技術を「見える化」し、学習システムとして提供することで、高度な技術の継承や新規就農者の技術習得の早期化が期待されます。

JGAP認証の取得を推進

食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられるJGAP認証にも力を入れています。適切な農場管理の導入により、農産物の安全性が高まる・労働事故防止等、農業経営のリスクを低減することができます。



生産コストの削減

生産資材価格高騰対策支援事業として、JAが推奨する化成肥料（10銘柄）を期間限定で1袋につき550円値引きして販売いたしました。



枝豆(豆王)HPは
こちらから

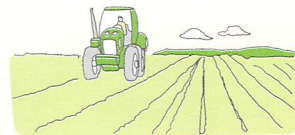


ブランド確立で差別化

JA独自ブランド確立で差別化に取り組んでいます。枝豆「豆王」はYouTubeチャンネルを開設し、SNSを活用したブランド力向上・販売力強化を図りました。



農業生産の拡大



作業効率を高めた施設の展開

平成30年度に片品トマトセンターをリニューアル稼働。令和元年度には白沢トマトセンターもリニューアル稼働して作業効率や処理能力が向上しました。白沢トマトセンターでは稼働に伴い新規出荷者の募集を周知するなど、各種営農関連利用施設の展開により農業生産の拡大を進めます。



生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援

トラクターを共同購入、生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。



生産基盤の確保

農産物直売所の運営を通じて、小規模農家の農業生産も支えています。





地域の活性化



食農教育や消費拡大運動の展開

10年以上開催している「親子農業体験」では体験を通じて食を支える農の役割や大切さを伝えていきます。女性部料理レシピで、地産地消やJAオリジナルブランドの消費拡大運動に取り組んでいます。



金融移動店舗車の運行

店舗の統合により最寄りの支店まで来店することが困難な組合員の方にも質の高いサービスを提供するために平成28年11月から稼働しました。貯金の入出金のほか、定期積金の掛込、公共料金や税金の収納ができます。



交通安全教室の開催

群馬県警察と協力した交通安全教室では警察署員が腹話術やイラストを使った交通ルールの説明や、親子一緒に横断歩道の渡り方を学びます。

校外学習等の受け入れ

農業やJAへ関心や理解を深めてもらうため、小学校の校外学習や中・高校生の職場体験を積極的に受け入れています。



JA利根沼田はSDGsに貢献しています！

直売所や青年部・女性部が中心となり、地域での活動を通して様々なかたちでSDGsに貢献しています。また、地域の協同組合組織では「利根沼田地域フートピア21」の活動に参加しています。



▲「まごころ便」



▲フード・日用品ドライブ

広報活動

女性部・青年部

女性部・青年部活動を通じて地域住民や子どもたちにJAの役割や理解促進を図っています。

コミュニティ版広報誌の発行

年1回、新聞折込により約2.5万部を発行することで、幅広い方々にJAの事業や活動を周知しています。

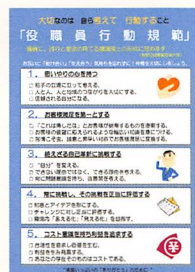
少年学童軟式野球大会 (JAカップ)

参加賞や副賞を提供し、地域の子どもたちを応援するとともに、主会場へ横断幕を掲げ、JAイメージ向上と米の消費拡大を呼び掛けています。

職員教育

役職員行動規範

自己改革を推進するため、職員教育を第一と考え、役職員一人ひとりが日常的に自覚を持ち、組合の一員であることを誇りに思い、組合が健全に維持・発展していくことを目的に行動しています。



JA利根沼田自己改革工程表（抜粋）

農業者の所得増大・農業生産の拡大

実施事項		目標とする指標	目標値		
対象者	売上増加・コスト削減効果【想定】		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
販売先ニーズに応えた強化品目野菜の取引の拡大を通じた売上増加		強化品目野菜 取引数量	トマト 6650 t 枝 豆 340 t	トマト 6700 t 枝 豆 345 t	トマト 6750 t 枝 豆 350 t
中核的担い手～多様な担い手	トマト 1 kg あたり 315 円 枝豆 1 kg あたり 910 円				
銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト削減		銘柄集約肥料 取扱数量	19,000 袋	21,000 袋	23,000 袋
全ての農業者	1 袋あたり 350 円				
担い手直送大型規格除草剤の取扱拡大を通じたコスト削減		担い手直送大型規格 除草剤取扱数量 取扱数量	10 件	20 件	30 件
全ての農業者	500mlあたり 700 円				

県域共通目標

県域共通目標	目標とする指標	目標値		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
販売品取扱高の拡大（畜産を除く）	販売品取扱高	9,782 百万円	9,880 百万円	9,979 百万円

地域の活性化

実施事項	目標とする指標	目標値		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
准組合員、農業振興の応援団の拡大	意思確認書の 提出人数	30 人	40 人	50 人
令和 6 年度 50 人				

経営基盤の確立・強化

実施事項		目標とする指標	目標値		
			令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
適正な手数料率による販売手数料と施設利用料の確保		販売手数料率 予冷費 コンテナ使用料	手数料率・ 利用料金の検討・ 決定（実施）	目標とする指標の 実施	目標とする指標の 実施
令和 6 年度	輸送改革、施設の老朽化等への対応費用確保				
新施設により南部地区の統合と各集荷所のハブ化を行い集出荷機能改善と品質の均一化を図り有利販売に繋げると共に業務及び輸送の効率化を図る（9 集荷所を 7 集荷所に統合）		再編集荷所	9 拠点 （再編計画決定）	9 拠点 （再編計画実行）	9 拠点 （再編計画実行）
令和 6 年度	概ね 5 年後を目標に 3 拠点を集約				

対話・意思反映

項目	令和 3 年度計画	令和 3 年度実績	令和 4 年度計画
組合員とのふれあい訪問・対話（人数）	訪問の都度	5,700 人（見込み）	7,000 人
准組合員個別モニター（広報モニター）	35 人	35 人	50 人
准組合員アンケート（人数）	年 1 回、35 人	年 1 回、35 人	年 1 回、50 人

——— 地域に根差したJAとして、組合員や地域住民から信頼され必要とされるJAを目指します ———